

V. 特記事項

1. 文化ファッション大学院大学ファッションウィーク (BFGU FW)

- 文化ファッション大学院大学（以下「本大学院」という）は、学修成果の発表の場として、文化ファッション大学院大学ファッションウィーク（以下「BFGU FW」という）を平成21（2009）年より毎年1月末から2月初旬にかけて開催している。
- 院生のファッションショーや展示、研究発表等を実施し、多様性の時代においてデザイン、テクノロジー、ビジネスの視点から新しいファッション価値を提案するとともに、次代のファッションビジネスの方向性を示唆し、新たな知財創造ビジネスの可能性を見出す場として位置づけている。ファッション業界のキーパーソンや現在ファッション業界で活躍している修了生等による基調講演やシンポジウムを行っている。このように、BFGU FWはファッション業界の知見を深め、情報を交換する場にもなっている。
- 第12回BFGU FWは、令和2（2020）年1月27日（月）～31日（金）に開催し、来場者数は約3,300人、企業や団体27社から後援・協賛・協力を得た。
- ファッションデザインコースは、選抜された2年次生9人が、自らフィッティング、舞台演出、音響効果、進行等を手がけ、1人あたり約8体の作品を発表する修了ショーを行なった。また、協賛特別展示では、企業等7社から提供された素材で製作した30体を展示した。同コースの1年次生は、31人が各自のコンセプトに基づいた作品展示を、装飾、ライティング、レイアウト等を行い、1人あたり5～6体を発表した。ファッションテクノロジーコースの1・2年次生は、各自が設定したテーマに沿って、研究成果（パターン・製図、データ表、ポートフォリオ、企画・製作した作品等）を展示した。中には、帝人株式会社等2社からの素材協力を得ての研究もあった。ファッション経営管理コースの2年次生の選抜者3人は、2年間の研究成果をプレゼンテーション形式で、同コース1年次生は1年間の研究報告を同じくプレゼンテーション形式で発表した。様々な国籍の院生が、日本国内のみならず、世界のファッションビジネスの状況をグローバルな視点で分析し、各コースの特色を生かした多様性のある研究発表を行った。このように、BFGU FWは院生の研究発表の場であり、企業や団体との産官学連携の成果を発表する場ともなっている。
- また、BFGU FWは国際交流の場として、ロシア・サンクトペテルブルク国立産業技術デザイン大学（SUITD）、チェコ・国立プラハ応用美術大学（UMPRUM）の学生とジョイントショーを行い、大使館関係者や企業・機関との連携を深めている。
- 以上のとおり、BFGU FWは次代のファッションビジネスの方向性を示唆する、さらには国際的に通用する新たな知財創造ビジネスの可能性を見出す場として機能している。



【資料特-1-1】 【資料特-1-2】